

編集後記 ～ 2025 年 第 21 巻の発刊に向けて～

日本救急医学会中部地方会誌は、2025 年に第 21 巻（Vol. 21）を迎える運びとなりました。その源流は、1984 年に発足した東海救急医学研究会に遡ります。同研究会は 1987 年に日本救急医学会東海地方会へと改称され、1997 年には日本救急医学会東海地方会誌が創刊されました。一方、北陸では 1991 年に北陸救急医学会が設立され、1995 年に日本救急医学会北陸地方会と名称を改め、2001 年には北陸地方会誌が創刊されております。

こうした歴史的経緯を経て、2005 年に両地方会誌が統合され、日本救急医学会中部地方会誌として新たに歩みを始めました。中部地方会は、石川、岐阜、静岡、富山、長野、福井、三重、山梨、愛知の 9 県を中心に運営される救急医学の重要な地域学会であり、今後もさらなる発展が期待されております。2024 年には理事会体制が刷新され、各委員会の活動も一層充実へと向かいつつあります。その一環として、新たに編集委員会が発足いたしました。

2024 年 12 月 7 日に福井で開催された第 27 回日本救急医学会中部地方会学術集会においては、編集委員会から「Let's 論文投稿 ～論文投稿へのより良い志向～」と題した教育講演が用意しました。投稿規定を十分に理解したうえで、適切な形式と内容で投稿していただくこと、タイトルの付し方や句読点の使い方といった基本事項、さらに引用文献の正確な記載方法についてなどが解説され、投稿規定を熟読いただく意義について討議しました。救急科を含む専攻医制度においては、学術活動が重要な評価項目となっております。専攻医は研修期間中に、日本救急医学会が認める救急科領域の学会における少なくとも 1 回の発表が求められるとともに、救急医学に関する査読付き論文を少なくとも 1 編発表することが必要とされています。

今号では、原著論文 1 編、症例報告 6 編に加え、能登半島地震に関する特集を掲載いたしました。日本救急医学会中部地方会は、医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師、理学療法士、救急救命士をはじめ、救急医療に携わる多様な職種の皆さまが集結する、多職種連携の学会です。中部地方という特色を生かし、救急医療の知見を共有し、日本のみならず世界へ向けて発信していくという使命を担っております。

編集委員会は、今後さらに充実した活動を展開してまいります。此の度、多くの皆さまよりご投稿を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。日本救急医学会中部地方会誌は、適切な査読を経た救急医学領域の学術誌として、さまざまな職種の皆さまからのご投稿を今後ともお待ちしております。

（日本救急医学会中部地方会誌 編集長
名古屋大学医学系研究科 救急・集中治療医学分野 松田 直之）